

春かおる会津～桜を見に行きました～

今やお花見は、国民的行事と言っても過言ではありません。
とりわけ、会津の人は厳しい冬があるからこそ、けなげに咲いた淡く色づく桜を見て、春の訪れをしみじみと心に感じるのです。

今年も美しく咲いてくれた会津若松市の桜をご紹介します。

(今年の開花は4月12日、満開は4月19日でした。)

鶴ヶ城

鶴ヶ城の帯郭にある基準木が花開き、4月12日に会津若松市長より開花宣言が出されました。

城内には約1,000本のソメイヨシノをはじめ、エドヒガン、ヤエザクラ、シダレザクラ、ヤマザクラなどの桜が植えられており、この日も地元の方はもちろんのこと、大勢の観光客で賑わいを見せていました。

(撮影日：2015/4/19)



石部桜



樹齢推定650年、幹周り最大約2.2m、枝張り約20mの巨大なエドヒガンザクラです。

木が密集しているように見えますが、実は一本の基幹が幹分かれしています。古木ながらも力強い幹から伸びた枝には可憐な花びらをつけます。

私たちが生まれる何百年も前からこの石部桜が毎年花を咲かせ人々を魅了してきたかと思うと、とても感慨深いものです。

(撮影日：2015/4/21)



会津大学の桜

まだ雪で覆われた秀峰磐梯山や、古くから山岳信仰で知られる東北の名峰飯豊山を背景に、キャンパスの外周を囲むソメイヨシノは圧巻です。

また、キャンパス内のウッドチップが敷かれた1周2キロメートルの散策路をウォーキングしながら桜を眺めるのもおすすめです。

もちろん、敷地内には自由に入ることができます。

(撮影日：2015/4/21)



河東工業団地の桜



河東工業団地入口から道沿いに植えられたソメイヨシノをはじめとする若い桜たちが

「ようこそ!」と言わんばかりに咲き誇っています。

工業団地のすぐそばには河東総合体育館の緑地広場があり、レジャーシートを広げ

美味しいお弁当をいただきながら桜の花見をするのがおすすめです。

(撮影日：2015/4/21)

